橋守支援センターの紹介と関西支部の取り組み

「橋守」とは

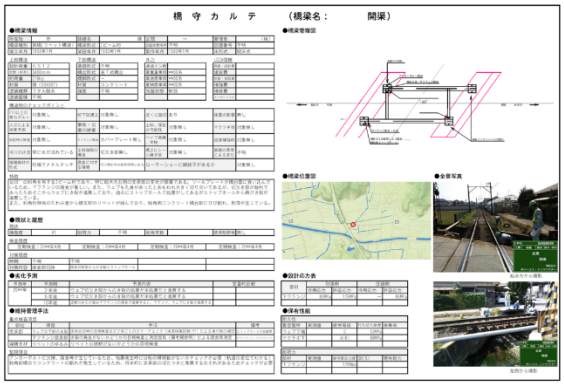
旧国鉄に昭和 38 年まで存在した（通称で職名は線路工手）。橋の近くに住み、点検・清掃・塗装等毎日我が家のように面倒を見て、どう守ればよいか一番よく知っている人達。山陰本線餘部鉄橋が有名。

橋守支援センターの設立

「橋守」精神を引き継ぎ、平成 13 年 10 月旧国鉄職員で株式会社ビーエムシー社長の阿部允氏が代表者となり、NPO 法人を設立。南海電鉄でも、その頃施設のメンテナンス・延命化に力を注いでおり、ビーエムシーの技術指導が縁で当時の鉄道部門の部長が発起人の一人となる。

橋守支援センター関西支部の活動

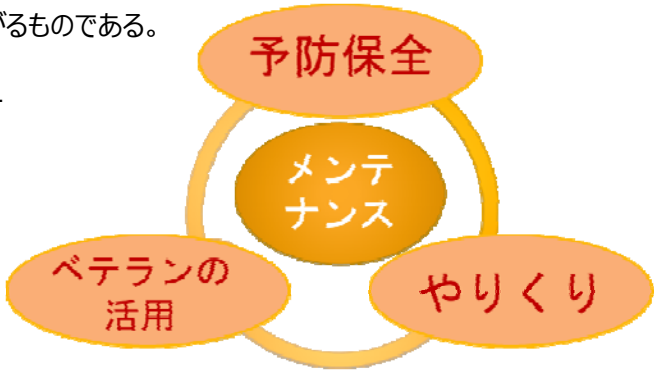
1.「橋守カルテ」作成の推奨



- 橋守カルテ＝「台帳」＋「検査記録」＋「処方箋」
- 橋としての特性と弱点を把握する
- 橋の保有「性能」を把握する
- 橋毎に維持管理のシナリオを示す
- 維持管理用の管理図を作成
- 戦略的データベースの反映（劣化予測・橋の弱点と保有性能・長寿命化の処方箋を示す）

2.インハウスエンジニア・地元の「橋守」の育成支援

維持管理は典型的な小規模分散型で、地方重視の産業となることは明確であるが、受け入れる企業や必要な技術を持った人材がいないことがある。橋守支援センターは専門家が中心になり構成する技術支援のボランティア組織で、前述した目的に向けて活動するもので、地域産業の創出と活性化と共にＯＢ等高齢者の経験を活かした雇用を創出することにつながるものである。

特定非営利活動法人橋守支援センター　URL

http://hashimori.jp/npo/index.html